

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

喘息の患者さんが多く来院されています！



## 喘息ってどんな病気？

発作的に気管支（空気の通り道）が狭くなり、ゼーゼー（喘鳴）や咳込みおよび息を吐く時間が長くなり呼吸が苦しくなる病気です。

## なぜ喘息になるの？原因は？

アレルゲンや病原体が気道の粘膜に入ってくると、サイトカインという物質が作られ、それによって好酸球や肥満細胞が活発になり、気管支に慢性的な炎症を起こします。

元々の原因は、アレルギー物質（食べ物やほこりなど）が体に入ってくることから起こります。

## 治療法は？

発作が起こってしまったときに症状を抑える治療と、発作を起こさないようにコントロールする治療があります。発作には小発作・中発作・大発作・呼吸不全の分類があり、その程度で治療は異なります。

予防的な治療も発作の起こる回数や程度によって異なります。

## 喘息って治らない？

喘息はアレルギー体質が気管支に作用している状態なので、内服薬や吸入薬でコントロールが可能です。ですから発作を治すよりも、起こさないようにコントロールしていく治療が重要です。

## 赤ちゃんでもなりますか？

小さな赤ちゃんはもともと気管支が細く筋肉も発達していないため、気管支炎を起こすと喘息のようにゼーゼーなりやすいので鑑別が難しいですが、乳児にも喘息は起こります。鑑別のポイントは一時的な状態か、何度も繰り返すかです。

## マイコプラズマ感染症ってどんな病気？

小学生や中学生で流行しています。マイコプラズマという、ちょっと変わった細菌による感染症で、おもに呼吸器系に感染して、肺炎や気管支炎を起こします。症状の特徴は、がんこな咳です。ただ胸の聴診をしても雑音がしにくいので、肺炎が見逃されることがあります。比較的元気なのに1週間以上咳が続くようなときは要注意です。

## どうやって感染するの？

飛沫感染といって、唾液などの中に菌が含まれており、感染者の咳を濃厚に浴びることで感染します。ですから、兄弟間や仲の良い友達間で感染しやすくなります。

## 治療する薬は？

一般的には、マクロライド系という抗生物質が使用されます。通常は内服後3日以内に症状の改善傾向を認めます。しかし最近では耐性菌という、マクロライド系抗生物質が効かないマイコプラズマも増加しており、適切量を3日間服用しても改善しなければ、別の薬に変更します。

## 当院の流行状況

**RSウイルスの検出数がようやく減ってきました。**

このまま終息する予想です。

**マイコプラズマ感染症が流行しています。**

学童期のお子様で咳が続いている場合は可能性が高いです。

**今シーズンすでにインフルエンザA型が検出されています。** まだ検出数は少ないです。





# 11月の製作物です！



## 当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料にご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せがあります。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしくお願い致します。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。